

鑄造部品メーカーのニノミヤ（二宮英樹社長）は今年春、本社工場敷地内に新たな工場が完成した。大型の鑄造部品を生産できるのが特長だ。今後、主力の自動車部品を深耕するほか、産業機械・建設機械部品の受注拡大と海外販路の開拓を進める。売上高は現状の45億円規模から2033年に100億円を目指す。（刈谷・山田悠）

100億
に挑む

自動車部品以外も拡大

ニノミヤ 新工場が今春完成

同社は、自動車や産業機械、

れる。

建設機械用鑄造部品の製造・販売を手掛ける。自動車向けでは、オートマチックトランスミッションやターボチャージャー（過給機）部品を生産し、国内外の自動車関連メーカーに供給している。これまでに生産能力増強や鑄造プロセスの自動化、女性が安心して働ける環境整備などに取り組んできた。

現在、売上高の85%が自動車向けだ。今後、電気自動車（EV）の普及により、既存の自動車部品の減少も想定される。すでに産業機械や建設機

敷地面積は約1万平方メートル、建屋面積は6300平方メートル。大型鑄造部品を製造し、非自動車分野の受注拡大につなげる。すでに産業機械や建設機



二宮英樹社長

械用部品では納入実績がある。顧客先の製品を把握しており、さらなる取引拡大を目指す。今年秋ごろの本格稼働を見込んでいる。

海外の販路も開拓する。円安が定着化しつつあることから、他の事業者と組んで、海外市場を開拓する。一連の取り組みによって、年率で10%の成長を実現し、100億円達成を目指す。

近年、カーボンニュートラル（温室効果ガスの排出量実質ゼロ）の取り組みも推進している。二酸化炭素排出量は30年度に21年度比42%の削減を目標に掲げる。国際的な認定機関「SBTイニシアチブ」から認定も受けた。今年4月からは使用する電気を、再生可能エネルギー由来に切り替えた。二宮社長は「新工場に加え、当社が力を入れるカーボンニュートラルの取り組みをお客さまに訴求していきたい」と意気込む。



鑄造プロセスの自動化が進んでいる



今年春に完成した新工場

【メモ】本社西尾市横手町川東新田17の1、電話番号0563・35・0551。1946年創立。2025年9月期の売上高は44億円。従業員数は約1300人。二宮社長は西尾商工会議所の副会頭を務めるほか、今年5月には、西尾市鑄物工業協同組合の理事長に就任した。

